

株式会社三義漆器店

福島県会津若松市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「伝統を止めない、新しい伝統を始める 暮らしを楽しく豊かに Bright Design, Everyday.」を企業理念とする

- 漆器の機能強化を図り、食洗機対応や電子レンジ対応、震災を契機に高い撥水を持つ機能性食器を開発
- 原発事故の影響で欧州市場との取引を失ったが、不屈の取組で新たに米国市場開拓に成功
- 「塗り」を「表面処理に係る技術」と捉え直し、大手メーカーや大学とコラボし、革新性を追いつけている

企業基本情報

所在地	福島県会津若松市門田町大字一ノ堰字土手外 1998-3
電話/FAX	0242-27-3456/0242-28-2252
URL	http://www.owanya.com
代表者	代表取締役 曾根 佳弘
設立	1935年
資本金	1,000万円
従業員数	70人



会社概要

会津塗の伝統を基に、現代のライフスタイルに合った使い勝手の良い安全な製品(主力:お椀)を作り続けている。これまで、食洗機対応製品や電子レンジ対応製品を家電メーカーと協力開発し、業界に先駆けて生み出してきた。さらに震災を契機に、塗料メーカーと協力開発した新塗料を用いて、高い撥水を持つ機能性食器を商品化。2万個/日の生産能力を有する工場に加え、技術者人手不足に対応するために、ロボットを導入した生産性の高い新工場を今年建設。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 現代生活に合った「会津塗」の技術を継承した器の提供

現代生活に合わせ、家電メーカーの協力のもと、食器洗浄機や電子レンジに対応した製品をいち早く開発・商品化。震災時に避難所等へお椀の無償提供を申し出たが、洗い水が不足しており、利用がかなわなかったことを教訓として、汚れ落ちの良い高い撥水性を持つ新商品開発に成功。この高い撥水性を持つ機能性食器は、同社オリジナルブランド及び大手量販店等のプライベートブランドとして多方面に展開され、アイテム数は500以上、出荷総数も100万個を超えた。



超撥水技術で付加価値向上

▶▶▶ 原発事故で販路を失うも新たな国に活路を見出す

震災前に主に子供用テーブルウェアでフランスを始めとするヨーロッパの市場開拓を行っていたが、東日本大震災に伴う原発の事故により市場が閉ざされ契約が全てキャンセルに。逆境にもめげず、アメリカをターゲットに震災の翌年より日本貿易振興機構(JETRO)支援のジャパンパビリオンに参加し、世界的美術館での展示、小規模店舗との取引開始、ついに米国大手チェーン店の30位にランクされるThe Container Store(ザ・コンテナ・ストア)に商品が並びに至った。



風評にめげず米国へ進出

▶▶▶ 伝統産業の革新的事例、次世代の「会津塗」を常に追い求めて

「表面処理に係る技術」こそ、同社が今まで取り組んできたコア技術であり、常に追い求め今後も改善を図っていく。大手家電メーカーと共同開発した食洗機対応漆器、東日本大震災時の「水不足」の経験から、大手塗料メーカーと開発した高い撥水を持つ機能性食器、そして、東北大学・堀切川教授の指導のもと開発したライフサポートテクノロジーに基づくカトラリー(スプーン・フォーク・マドラー)等、革新的な開発を今後も進める。



食器洗浄機対応漆器、人間工学に基づくカトラリー